

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・フランス語	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 1年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>フランス語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	--

使用教科書 副教材等	(1)inspire 1 (A1 cahier d'activités) (Hachette FLE) (2)仏和辞典 (3)自主作成プリント
---------------	---

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、フランス語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	フランス語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にフランス語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	inspire 1 Unit 1~4	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	inspire 1 Unit 5~9	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 (1)inspire 1 Unit 1~4	18
	5	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	6	(1)フランス語の発音とつづり字の読み方の概要を学ぶ。 (2)数字0から2000まで習得し、話し聞き取れるようになる。	
	7	(3)自己紹介と他者について語る表現を習得し、話し聞き取れるようになる。	
	8		
	9	◆-----第2回考査	
後期	10	学習内容 (1)inspire 1 Unit 5~9	17
	11	(2)自主作成プリント 学習のねらい	
	12	(1)総合テストを行い、学習内容を習得する。 (2)時刻の表現を学び、自分の生活のしかたを話せるようになる。	
	1	(3)相手・第三者の生活のしかたについて質問し、聞き取れるようになる。 (4)授業を通して、フランスおよびヨーロッパの文化や社会に対する基本的な知識を身に付ける。	
	2		
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・中国語	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 1年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>中国語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	--

使用教科書	新・高校版 中国語はじめの一步(白水社)
副教材等	自作プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	主に中国語の基礎(ピンイン)、基本文型を学ぶ。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	主に中国語の基礎(ピンイン)、基本文型を学ぶ。	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容	18
	5	主に中国語の基礎(ピンイン)、基本文型を学ぶ。	
	6	学習のねらい 中国語の発音の基礎「ピンイン」と名前の言い方を学習する。	
	7	人称代名詞・指示代名詞、「主語+述語」・「主語+述語+目的語」を学習する。授業を通して、中国の社会、文化に対する基本的な知識を身に付ける。	
	8		
	9	◆-----第2回考査	
後期	10		17
	11	学習内容 主に中国語の基礎(ピンイン)、基本文型を学ぶ。	
	12	学習のねらい 数字・親族呼称・衣食住についての言い方、疑問詞と疑問文を学習する。	
	1	比較文、選択疑問文、前置詞の使い方、主述述語文を学習する。 まとめ、総合練習を行う。	
	2		
	3	◆-----第4回考査	

5 その他

○定期考査は、第2回と第4回のみ実施します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	国際理解・韓国・朝鮮語	単位数	1単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 1年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>韓国・朝鮮語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えあうことができるようにする。</p> <p>(5)書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
-------------	---

使用教科書	(1)한국어 1・韓国語1(TWO PONDS [주] 문 진 미 디 어)
副教材等	(2)自主作成教材

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	韓国・朝鮮語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用し、目的や場面、状況などに応じて情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、韓国・朝鮮語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したことを元に、適切に伝えている。	韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に韓国・朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	TWO PONDS1 第1課～第5課	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点
後期	TWO PONDS1 第9課～第10課	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・定期考査	・ポートフォリオやワークシートの記述分析 ・学習課題等
	評価点	300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	学習内容 (1)TWO PONDS1	18
	5	1課 教室-1 2課 教室-2 3課 自己紹介 4課 教室-3 5課 簡単な対話	
	6	子音 母音 半切表 平音(1) 平音(2) 激音	
	7	濃音 合成母音 パッチム N은 무엇입니까?	
	8	N입니까?아니요 N가 아닙니다. V 습니다/입니다.	
	9	(으)십시오. N은 V지 않습니다. (2)自主作成プリント	
		◆-----第2回考查	
	10	学習内容 (1) TWO PONDS1	
	11	6課 天気 7課 曜日 8課 部屋 9課 昨日のこと 10課 部屋	
12	助詞, N이 A입니다.		
1	曜日, 羅列の連結語尾 S고 S V/A 아요/어요	17	
2	過去形 V/A 았어요/었어요 変則 S지만 S		
3	「韓国語スピーチ」発表会 (2)自主作成プリント		
	◆-----第4回考查		

5 その他

○定期考查は、第2回と第4回のみ実施します。